

議会だより



ハマグリ ゲット！ (7/13 一宮海岸海開き) 撮影：小安博之 編集委員

平成 25 年 8 月
第 148 号

町のホームページで議会だよりや議会の
会議録等を見ることができます。

<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>

一宮議会だより

検索

海岸駐車場設置条例を可決

一宮小屋内運動場耐震 改修工事契約を承認

- 6月定例議会・5月臨時議会で
決まったこと…… (2)~(5)
- 一般質問6名の議員より …… (6)~(11)
- 議会の動き・編集後記 …… (12)

6月定例議会・報告・条例制定及び改正・討論

平成25年第2回一宮町定例議会は、6月18日に開催され、町長の行政報告をはじめ、請願3件、発議3件、一般質問は6名の議員がおこないました。

また、議案として報告1件、条例の制定・一部改正2件、工事契約1件、一般会計補正予算・国民健康保険事業特別会計補正予算と人権擁護委員の推薦が原案どおり可決しました。



6/2に行われた世界大会優勝者（釣ヶ崎海岸）

繰越明許費繰越計算書の報告 平成24年度繰越明許費

地方自治法の規定に基づき、平成24年度繰越明許費（繰越された事業の主な内容は、平成24年度一宮町一般会計補正予算（第7次）で措置された、通学路の交通安全対策事業（町道1・10号線歩道整備事業）、道路ストック総点検事業（町内のトンネルや橋りょうの総点検）、一宮小学校屋内運動場耐震改修事業などです。

一宮町子ども・子育て会議条例の制定

子ども・子育て支援事業を推進するため、「一宮町子ども・子育て支援対策事業検討委員会」を設置し、検討を進めておりましたが、子ども・子育て支援法に基づき、「子ども・子育て会議」として条例で定めるものです。

一宮町国民健康保険税賦課徴収 条例の一部改正

この条例改正は、医療費の急増に伴いその財源である国民健康保険税の税率の改正を行うもので、基礎課税額の所得割を7%から7.7%に、均等割額を1万9千500円から2万1千円に、後期高齢者支援金等課税額の所得割を2.7%から2.9%に、均等割額を9千円から1万円に、介護納付金課税額の所得割を1.7%から2.1%に、均等割額を7千300円から1万4千円にそれぞれ増額するものです。

国民健康保険税賦課徴収 条例の討論

反対討論

塚場 博敏議員

今回の税率改正は、所得200万円の夫婦と子供2人のモデル世帯で考えると、これまで税額が年33万8千円800円だったものが、4万5千100円増額して、38万3千900円と大幅な増税である。

仮に同モデル世帯で所得税を計算すると非課税となり、これと比較して国保税がいかに高額であるかわかる。

現在の経済状況下でのこの国保税の大幅な引き上げは容認できない。

そこで、町民福祉向上の立場から、一般会計から繰り入れをしても引き上げは止めるべきで、逆に引き下げを求め反対する。

賛成討論

袴田 忍議員

国民健康保険制度は、誰もが安心して医療を受けることができる医療制度だが、近年急速な高齢化の進展や医療技術の高度化等により医療費が年々増加し、国保財政は非常に厳しい状況である。

これまで財政調整基金の取り崩しや繰越金等に対応してきたが、基金も減少する中、医療費は増加の一途である。このまま税率改正をしなければ、本年度中にも赤字が見込まれる危機的な状況である。

この状況下、今回の改正は、一般会計からの繰り入れも視野に入れた、最小限の改正であり、国保特別会計の財源確保と運営の安定化を図るためには、やむを得ない改正と判断して、この条例改正に賛成する。

一宮小学校屋内運動場耐震改修 工事契約

6月5日執行の一般競争入札により仮契約されていた一宮小学校屋内運動場耐震改修工事について、契約が可決されました。

契約金額 1億2千3百37万5千円（税込み）

請負業者 一宮町一宮3178番地

片岡工業株式会社 代表取締役 片岡暉雄

一宮町一般会計補正予算（第2次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8千1百3万1千円を追加し、歳入歳出を44億6千9百88万1千円とするものです。

主な内容は、現在、事業が進められている役場新庁舎建設事業に関連した既設浄化槽解体及びインフラ切り回し工事2千1万3千円、大塚実氏から頂いた寄付金の基金積立て3千万円、有害鳥獣対策協議会補助金7百5万4千円などが追加されたものです。

一宮町国民健康保険事業特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千9百47万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ14億6千4百52万3千円とするものです。

内容については、一般被保険者療養給付費の不足分を補うために国民健康保険税を税率改正により増額するものです。

推薦

人権擁護委員に一宮（15区）の
河野久代さんが再任されました。



耐震改修が行われる一宮小体育館

平成 25 年 第 2 回定例会 提出議案等 議決結果（6/18）

番 号	議 案 内 容	審 議 結 果	
議案第 1 号	一宮町子ども・子育て会議条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第 2 号	一宮町国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	賛成多数
議案第 3 号	一宮小学校屋内運動場耐震改修工事契約について	原案可決	全会一致
議案第 4 号	平成 25 年度一宮町一般会計補正予算（第 2 次）議定について	原案可決	全会一致
議案第 5 号	平成 25 年度一宮町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 次）議定について	原案可決	賛成多数
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任	全会一致

6月定例議会 請願の審査結果

件名	請願者	審議結果	
TPP交渉参加に関する意見書の提出を求める請願	千葉県八街市八街は18 食糧と健康を守る千葉県連絡会議 議長 長平 弘 農民運動千葉県連合会 会長 大木 傳一郎	採 択	全会一致
「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	千葉市中央区中央4-13-10 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 小比類巻 勲	採 択	全会一致
「国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	千葉市中央区中央4-13-10 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 小比類巻 勲	採 択	全会一致

◎採択された請願に係る意見書の提出については、議員発議により議案として審議され、全会一致で可決し、関係行政庁へ意見書を提出しました。

請願・臨時議会・専決・議決結果

臨時議会

平成25年第2回臨時議会は、5月29日に開催され、議案として条例の専決処分の承認2件、条例の制定、一般会計補正予算が原案どおり可決しました。

一宮町税条例の一部を改正（専決）

平成25年3月30日に公布された地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、一宮町税条例の一部を改正する条例が専決処分され、承認しました。

改正の主な内容は、ふるさと寄付金の特別控除額の見直し、延滞金の利率の引き下げ及び住宅ローン控除の適用期限を平成29年までの4年間延長するものです。その他は、関係法令の改正に伴う条項の整備です。

一宮町国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正（専決）

平成25年3月30日に公布された地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、一宮町国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例が専決処分され、承認しました。

改正の主な内容は、国保加入者が、75歳になり国保から後期高齢者医療制度に移行した場合、国保に残った単身世帯（特定世帯）について、国保税の世帯平等割額を2分の1とする軽減措置を5年間の期間限定から恒久措置としたものです。

平成25年 第2回臨時議会 提出議案等 議決結果 (5/29)

番号	議案内容	審議結果	
承認第1号	一宮町税条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	承認	全会一致
承認第2号	一宮町国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	承認	全会一致
議案第1号	一宮町営駐車場設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	賛成多数
議案第2号	平成25年度一宮町一般会計補正予算（第1次）議定について	原案可決	賛成多数

一宮町一般会計補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2千1百85万円を追加し、歳入歳出を43億8千8百85万円とするものです。

内容は、一宮海岸と釣ヶ崎海岸広場で試行される有料駐車場運営費8百4万3千円、例年になく流行をみせている風しんの予防接種事業1百35万円、施設園芸農家への「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業1千2百45万7千円が追加されたものです。



期間限定で有料化された海岸駐車場

一宮町営駐車場設置及び管理に関する条例

この条例は、圏央道が東金まで開通した状況の中、今まで以上に観光客が訪れてくれるよう一宮海岸を魅力のあるものにして行こうという考えから提案されたもので、現状のまま有料駐車場を開設し、駐車場利用者からはそのための「協力金」ということで使用料を徴収するために必要な事項を定めるものです。

また、徴収した使用料については全て海岸の環境整備資金に充てるというもので今年度は試行実施されます。

○駐車場開設場所

- ・ 旧一宮荘下から北側
- ・ 伊勢化学下から南側
- ・ 釣ヶ崎海岸広場

○開設期間

平成25年7月13日から8月31日まで

※釣ヶ崎海岸広場は、12月28日まで

○駐車場使用料

- | | |
|----------------|--------|
| ・ 大型 | 1,000円 |
| ・ 中型 | 700円 |
| ・ 普通車・小型車・軽自動車 | 500円 |
| ・ 原付以上の2輪車 | 100円 |

※運転者の運転免許証で現住所が一宮町であるということが確認できれば無料となります。

町営駐車場設置及び管理に関する条例の討論

反対討論

藤葉 一由議員

本条例により、海岸の利用環境を整備し、観光・産業の発展につなぐことを目指す考えには共感する。

しかし、この条例制定にあたっての事前の調査・問題点への対応などの準備、住民や事業者への周知等が不十分である。これがあったこそ成果が期待できる。

また、次年度以降の本格的実施への評価判断の基準や、移行へ向かう全体計画も不十分である。

よって、本計画は時期尚早で、次年度に向け再度準備計画を練るべきと考え反対する。

さらに、玉川町長の重要な基本理念である情報公開が十分にされたとは評価できない。

こうした取り組み姿勢に對しての批判も含め、本条例制定に反対する。

賛成討論

吉野 繁徳議員

一宮町は、昔から海辺のリゾート地として栄えてきており、最近では、一宮海岸は世界的なサーフスポットとして、多くのサーファーが1年中訪れている。

本年4月に、圏央道が本更津から東金まで開通し、サーファーだけでなく、多くの来訪者が期待できる。しかし、海岸部の環境整備は十分とは言えず、良好な海岸環境の保全是、当町の更なる発展の課題となっている。

ところが、その課題解消には、多くの資金が必要である。

有料駐車場化は、その整備資金として、利用者から協力金をお願いして整備に充てるためのものである。

海岸利用者や海岸県道沿いの事業者の方々からのアンケート結果も良好で、今年度から試行的に実施し、駐車場料金ですばらしい海岸整備を期待し、本条例に賛成する。

東口計画

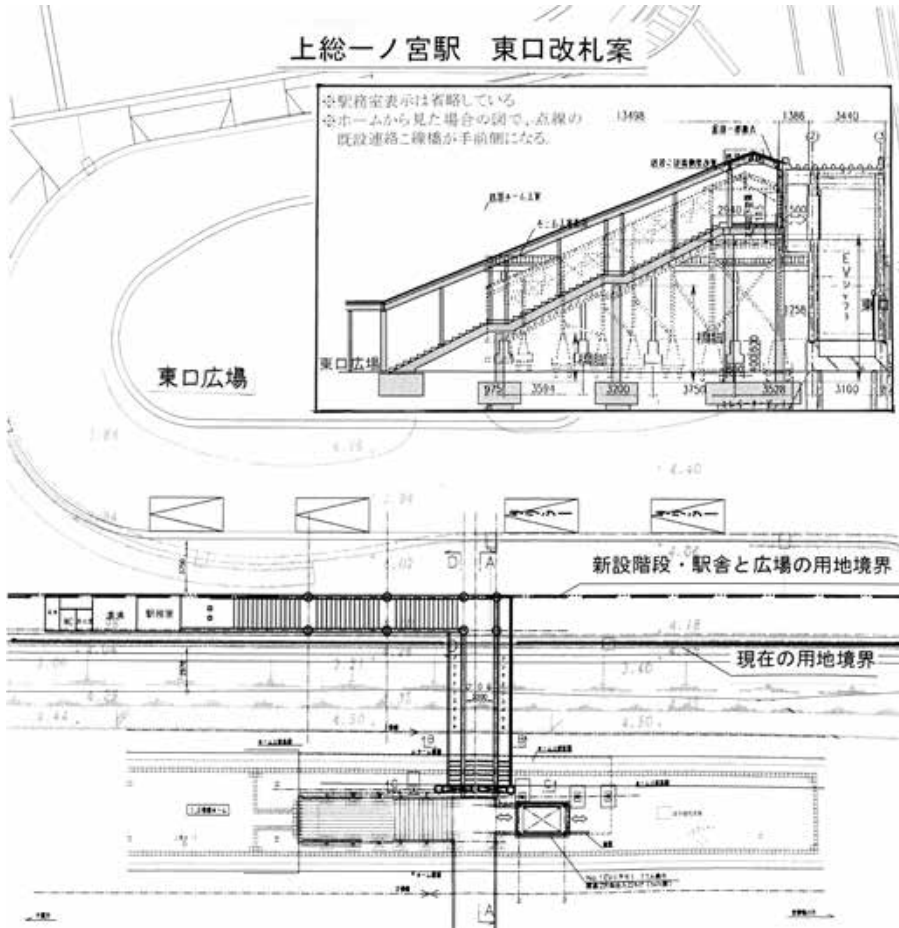
凍結も視野に



藤乗一由議員

上総一ノ宮駅東口開設の建設費の概算見積りは、約5億1千万円と出された。設計図から見て、費用に見合う建築物とは考えられ

ない。さらに、今後町の公共建築物の建て替えやメンテナンスに多くのコストも見込まれる。また、建設資金の多くを「ふるさと納税」など寄付に頼るのは現実的には無理がある。あえて寄付を募り続けるならば、むしろ信頼を損ねることにもつながる。



工事見積りで5億1千万円とされた東口計画

計画は一旦凍結するか別の方法を模索すべきではないか。

寄付を募り進める

玉川町長 駅東口は、建設費以外に毎年の維持管理費に1千万円必要とされるが、開設による将来的な発展も見込めるため、進めなければならぬ。

工事資金は、1億円の基金を3億円に積み増し、町民・駅利用者と企業からの寄付を2億円として資金を確保したい。

寄付に関するPRが不足だったので、今後は個人・企業への寄付募集の方法を検討する。また、任期中に着工出来なくとも実現できるように努力していく。

学童保育現状と今後は

本年度の学童保育への希望件数の急増に関連して以下の点について伺う。

①一宮学童保育、東浪見学童保育の利用状況

②待機児童解消の対策
③次年度以降への対応方針
④27年度以降に、受入れ対象者が4年生以上にも拡大される。学童保育を子育て全体の中での支援策の一部として、町予算の枠に見合うバランスのとれた総合的な、長期的な計画を立てるべきだがどうか。

施設新築も検討

町田教育長 学童保育わんぱくクラブの過去3ヶ年の利用状況は、東浪見学童保育では、22年度15名、23年度14名、24年度10名、本年度15名でおおむね横ばいである。

一宮学童保育では、22年度29名、23年度46名、24年度49名で、23年度に急増し、本年度は定員の50名を超え、現在7名の待機児童が発生している。

これは、共働き家庭の増加や核家族化の進行などといった社会背景による申込みの増加傾向と考えられる。

待機児童解消の対策に

は、一宮学童保育での実施面積を拡大する必要があるが、一宮小学校のさらなる教室利用は、円滑な児童の学習活動を損ね、難しい状況である。実際、22年度以降に学童保育を生活科教室で開設したため、1、2学年の生活科授業に支障をきたしている。

現在、児童の通所、使用の安全性、利便性を考慮したうえで、公共施設を活用した部屋の確保等、さまざまな観点から、早期解消と受け入れ拡大に向け、検討を進めている。

次年度以降の学童保育の需要増には抜本的対策が必要であり、施設の新築も視野に入れた中で、計画的に学童保育の整備に取り組んでいく。

玉川町長 27年度からの子ども子育て支援事業計画策定について、関係団体の代表者による委員会での検討をしている。今後小6までの受け入れを含めてこの中でも協議を行い、今後子ども子育て支援自治体としての優位性のある事業の取り組みを限りある財源の中で有効に活用できるように検討していく。

一宮川・南川尻川の津波対策は



鵜野澤一夫議員

一宮海岸の津波防護施設は海抜6.5mで整備される。5月29日、県より一宮川の津波対策事業の説明会があり私は、2河川の護岸の高さを実測した。



かさ上げの早期完成が求められる川口付近

一宮川は、満潮時で観光倉庫前1.4m、新一宮大橋(左・右岸)1.6～2.0m、16区水門(左・右岸)2.3m、2.7m、中之橋～あらおい橋(左・右岸)3.0～3.3m、JR鉄橋～一宮橋(左・右岸)3.7～4.7m、一宮橋～7区の水門(左・右岸)3.7～4.0m、南川尻川の大村住宅前は水面から1.5m～2.0mである。政府地震調査委員会は、

今後とも対策を検討

南海トラフ地震(30年以内70%の発生確率)が発生した場合、一宮海岸は約10mの大津波が来ると想定している。県、町は早急に津波対策を立ててほしいが見解を伺う。

小関都市環境課長 一宮川の津波対策については、県から海岸の土塁の高さを決めるために設定した津波高と同じ条件で河川の津波遡上高を設定し、河口から中之橋までの間の堤防をかさ上げする案が示された。現況堤防から最大で2.9m、平均で1.5m程度のかさ上げを計画している。

今後、河川沿いの住民への説明を行い、同意を得て計画を実施することになる。今年度は、堤防の詳細設計を予定しているとの事であり、町としても県と協力し、早期完成に向けて努力する。

南川尻川については、準用河川であり管轄は町になる。現段階では、高潮対策

TPP参加後は

を行なっていて、津波対策については、今後、県と協議し、対策を検討していく。

TPP参加により、国内はもとより町の農業が大打撃を受け、農作物の生産量が激減する。減少率は米が32%、牛肉が68%、牛乳乳製品が45%、甘味資源作物(サトウキビ等)が100%減少し、食料自給率は39%から27%に低下する。

農業生産が失われると、農村景観、地域の伝統文化など、また農業、林業なども喪失のおそれがあり(農林水産省資料による)町の農業後継者がいなくなり、農業従事者が減少し、大変な問題になる。

国では、「農業所得の倍増も」とうたっており、早急に国・県の政策や企業の動向を調査の上、町は指導的立場に立って、対応策を協議すべきと考える。町長の見解を伺う。

対策を協議していく

字は大きいですが、これはどの程度の予算を使って手当するかという数字を政府が示唆したものと考えます。

玉川町長 TPPは、加盟国の関税撤廃等による経済の自由化を目的とした経済連携協定であり、日本はこの3月15日に正式に交渉参加を表明し、7月末頃には交渉参加が認められる見通しとなっている。

政府の試算ではTPPに加盟した場合の農業部門の生産減が、3兆円という数字

政府統一試算として、農林水産部門の生産減を大きく見て、より多くの予算で手当てをするからというメッセージを込めての、TPP交渉に参加するという宣言と思われる。今後、国の動向を逐次チェックし、県とともに農業従事者を入れてJA他関係団体と町で対応策を協議していきたい。



町特産品のマスクメロン

町民体育祭に

代わるものを



志田延子議員

町民体育祭が中止されて、7年となる。町内への

移住者が半数になろうとしている現在、町民体育祭の復活は難しいと考える。地域住民のコミュニケーションづくりとして、学校との連携による地区運動会の開催をすべきと思うが見解を伺う。

学校や自治会

と協議

研修先は
十分検討

玉川町長 地区運動会の開催は、学校と地域住民との接点を作り、学校を中心とした地域のコミュニケーションを活性化する考えから大変有効な方策だと考える。

しかし、実際に地域と連携した運動会を開催するためには競技種目の選定、地域住民の参加をどう図るかなど、解決すべき様々な問題がある。学校や自治会と十分な協議をしていく。

民間研修の
目的は

本年度の役場職員研修の予算資料を見ると、自治研修センターや広域市町村圏組合研修、自治大学校と職員能力向上のための研修が多く組まれている。しかし、5月に突然当初予算に組まれていない民間研修が行われている。この民間企業の選定経緯と目的を伺う。



峰島総務課長 民間研修は、民間の効率的な業務運営やコスト意識、地域貢献等の取り組みを実験することによって職員の意識改革と行政運営に資する事を目的とし、課長クラスを対象に試行的に実施している。今後は、参加職員の見解等を参考に、研修成果を検証する。

玉川町長 民間研修の実施にあたっては、どのような会社なのか、また、どのような研修を行っているのかなど確認し、十分検討する。



職員研修の一コマ

議会だよりへのご意見・

感想をお寄せください

特別養護老人ホーム 待機高齢者対策は



袴田 忍議員

高齢者福祉の一つとして、特別養護老人ホーム等の施設入所サービスがあり、少子高齢化が進む今



待機高齢者は、今……

状況にあった サービスを提供

日、入所を希望する高齢者は年々増加している。しかし、家庭で待機している高齢者が多い。そこで、町が把握している施設入所待ちの人数とそ
 の中の独居老人の人数は。また、待機者への対策としてどのように取り組んでいるのか伺う。

高師福祉健康課長 特別養護老人ホームの入所待機者は88人で、その内独居老人は18人。また、独居老人で要介護度が4又は5で待機しているのは2人。一人は子どもが近くに住んでおり、居宅サービスを利用しながら介護をしている。もう一人は入院中である。その他、要介護度3以下で待機している人には、要介護度に応じたデイサービスや訪問入浴、或いは訪問看護などを組み合わせれば、家族の毎日の負担が軽減できる。

また、介護する人が旅行する場合は、ショートステイを利用するなど、介護プランを作成するケアマネージャーとよく相談して利用してもらいたい。

また、要介護者の状況に変化があったときもケアマネージャーに相談してもらいたい。

町としても、地域包括支援センターに、主任ケアマネージャー、保健師及び社

会福祉社がおり、介護関係の他、認知、権利擁護関係等についての相談に応じている。

川北への 避難タワー の設置を

防災対策（津波対策）として避難道路、土塁整備等の検討はされているが町民の不安度は高い。「津波避難は高台に逃げる」原則から高台を求める人は多い。

町の防災計画の中では、居住付近の高い建物が避難場所として指定されているが、海岸区・船頭給区・新地区・宮原区は一宮川の北側にあり、避難場所も限られ、遠方に避難するにも時間を要する。

地元住民に安心感を持たせるためにも、避難タワー設置の検討をすべきである。

慎重に 検討する

玉川町長 町北部地区のほか、東浪見地区においても高台や高い施設が少なく、町としても両地域については一時避難場所の検討に苦慮している。

避難タワーは、約1000人の収容で3〜4千万円程度の建設費、年間50〜60万円の維持経費を要し、設置場所にも十分な検討が必要となる。

地震、津波の情報を確認したら、すぐ避難することを基本として周知しているが、このような高台や施設等の無い場所には避難タワーの設置は必要と考えている。

設置には高額な費用を要するので設置する場合は、国などの補助金を活用するなど、場所等も含めて慎重に検討して行きたい。



九十九里町の避難タワー

組織を活かした
行政運営を



鶴岡 巖議員

町長の政治姿勢は、住民との協働と情報公開を原則として取組んでいるが、これまででの行政運営には問題点が見られる。

政策決定過程での各種審議会等で、審議会が形骸化し、機能しない場合もある。公募委員や学識経験者の選任基準を伺う。
毎月実施している町長室開放日の目的と内容は何か。

また、町長は住民から、さまざまな場で、要望を受け、政策会議等で十分検討



よりよい町づくりを！

しないうちに、職務命令として担当課へ指示を出される。そのため、日常業務より優先的に処理を迫られ、現場は混乱し、多忙化している。
こうした、拙速なトップダウンの指示はやめて、組織を活かした対応を求め、見解を伺う。

組織的対応を
心がける

感謝している。
検討が必要な事案は、担当課と十分検討し、判断しているが、独断的なトップダウンになることなく、考えるステップを重視した組織的な対応を心がけていく。

ねばり強く
東口開設を

東口開設問題は、昨年の3月議会で、「工事費については、縮減に向け検討したい。資金面でも、町で活動している企業や駅利用者（ふるさと納税）の協力を呼びかけていく。また、駅利用者のニーズ調査を行い、庁舎前には（平成27年春東口を開設しよう）の垂れ幕を掲げ町民へPRしていきたい」と答弁された。

そして、6月15日発行の孫の手通信でも「最も費用のかからない設備条件で概算5億円かかることが推測され、多額の事業費の確保など数々の課題があるが、関係者と協議を重ねて早期実現に向けて取り組む」という趣旨で町長の決意を書かれている。



駅東口開設予定場所

今後は、目的をはっきりさせた期成同盟を設立し、東口開設による経済効果等も示し、JRとのねばり強い交渉で突破口を開けないかと考える。見解を伺う。

期成同盟な
どで運動を

玉川町長 JRは、当初、東口開設について乗降客が、1日当たり10万人を超える駅以外は1駅に2つの改札口は認めないと難色を示していた。

しかし、地元選出の国会議員などととも要望し町

こんな質問もありました
問 入札予定価格の歩切りの撤廃について
答 歩切りは改める。

国保税引き下げの 政治決断を求め



畑場博敏議員

「アベノミクス」といわれる経済対策で一般庶民は生活関連物資の値上がり、公共料金の値上がり等、生活が厳しくなっている中、少しでも生活防衛策を求め

ている。加えて来年度からの消費税率の引き上げ、T P P 参加問題など暮らしと営業への影響は深刻である。

例えば、所得200万円、4人世帯のモデルで、国保税の年税額34万円は高すぎ

る。一般会計からの法定外繰入れをしても税率引き下げの政治決断を強く求めるが見解を伺う。

医療費増で 税率アップを

玉川町長 町ではできる限り被保険者の国保税の負担を抑えるため、国保財政調整基金を取り崩しながら、平成21年度から3年間税率を引き下げ、平成24年度は据え置きをしながら運営を維持し、長生郡市内でも税率の一番低い町として努力してきた。

しかし、医療費などの増加に伴い、このままの上昇率で推移した場合、現在の保険税率では健全な運営が図れない状況となり、やむをえず税率を引き上げる。

また、今後の医療費の伸びによっては、年度途中で歳入不足となる。その際には一般会計からの繰り入れも予定しているので、ご理解いただきたい。

ゴミ袋代 値下げを

ゴミ問題は循環型社会をつくる上で社会全体の問題である。

国は、循環型社会形成推進基本法をつくり、廃棄物への対応の優先順位を法律で初めて決めた。

さらに5つのリサイクル法（容器包装、家電、食品、建設、自動車）がつけられ再資源化されるようになった。

ゴミ袋の有料化で処理費を住民におしつけるやり方では、根本解決にならない。企業のゴミ処理費の負担も重要である。

ゴミ袋代値下げを意識改革の協働作業のチャンスととらえ、実現まで行動してほしいが見解を求め

7市町村で 議論を

玉川町長 広域行政のゴミ袋の値下げについて、現在管理者会議では消防やし尿処理などの施設設備の財政負担が発生する事案も控えていることなどを理由に、値下げに慎重な意見があり結論は出ていない状況である。

今後、7市町村の意見の調整を図りながら、議論を深めていく。



水道料金の引き下げは

基本料金を 10³m³に 設定を

町の水道料金は県営水道と比べ3倍近く高い。これは、移住定住促進の点から見ても問題である。本来、水道は、等しく安い価格で供給されなければならない。

県営水道並みの料金への改善を求める。これまでの歴史的経過もあるので、当面の改善策として住民の使用実態にあわせた基本料金設定を提案したい。

現在の基本料金は、2ヵ月で16m³である。しかし10m³までの使用家庭が全体の75%を占めている。

管理者会 議で検討

基本料金を10m³へ引き下げを求めたい。

玉川町長 基本料金には、安全で安定した水を供給するための経費が含まれている。

これらの経費が著しく高額であることから県と市町村が負担し、個人に係る負担を軽減している。

基本料金の引き下げによって個人負担は引き下げられるが、更なる市町村負担増が考えられるため、広域市町村圏組合の管理者会議等で検討していく。

75%を占めている。



広域環境衛生課でゴミを所管

市民農園利用者募集中

町では、平成25年6月1日から市民農園を開設し、利用者を募集しています。一宮川沿いのどかな農園で季節の野菜を育ててみませんか。

◆場所 7区・1 県宮住宅北側

○区画の大きさ 1区画 50㎡

○使用料 1年間 6,000円

※平成25年度は1ヶ月 500円

○貸付期間 ※更新可

1年間（毎年4月1日～3月31日）

○申込方法

役場産業観光課に農園借受申込書を提出してください。申込書は町ホームページにも掲載しています。

※現住所が確認できる書類を添付してください。

【問合せ】産業観光課 ☎(42)1427



初心者大歓迎！
地元の農家が親切に指導します！

【議長・議員が出席した主な行事】

4月

- 2日。愛光保育園入園式
- 4日。東浪見・原・一宮保育所入所式
- 8日。一宮中学校入学式
- 9日。一宮商業高校入学式
- 一宮小・東浪見小学校入学式
- 13日。招魂祭
- 一宮町つくも会定期総会
- 一宮町つくも会総務文教常任委員会
- 16日。長生郡町村議会議長会会計監査
- 17日。一宮町つくも会定期総会
- 一宮町つくも会総務文教常任委員会
- 19日。一宮町婦人会総会
- 22日。一宮町更生保護女性会通常総会
- 一宮町更生保護女性会役場新庁舎建設事業説明会
- 23日。一宮町例月出納検査
- 24日。一宮町ボランティア連絡協議会総会
- 一宮町ボランティア連絡協議会総務文教常任委員会
- 26日。一宮町文化同好連絡協議会定期総会

5月

- 9日。長生郡町村議会議長会臨時会
- 16日。有料駐車場説明会
- 一宮町観光協会通常総会
- 18日。東浪見小学校運動会
- 20日。公立長生病院地鎮祭
- 一宮町定例監査20～22日
- 22日。一宮町商工会総会
- 24日。長生郡町村議会議長会定期総会
- 25日。水防訓練
- 一宮小学校春季大運動会
- 27日。千葉県町村議長会定例会
- 千葉県町村議会議長会定例会・政務研究会
- 29日。臨時議会
- 津波対策事業説明会

6月

- 1日。一宮中学校体育祭
- 5日。一宮町交通安全対策協議会定期総会
- 8日。一宮町消防ポンプ操法大会
- 13日。議会運営委員会
- 一宮町議会議員全体会議
- 一宮町議会報編集委員会
- 17日。一宮町例月出納検査
- 18日。定例議会
- 20日。原水爆平和大行進
- 25日。一宮地区防犯組合総会
- 26日。議会報編集委員会
- 30日。長生支部消防操法郡大会

議会の主な動き（平成25年4月～6月）

あなたも議会を傍聴しませんか！
次回は9月18日（水）午前9時からの予定です

編集後記

来春3月の完成を目指し、役場新庁舎の建設工事が始まりました。老朽化した現庁舎の建て替えは長らく町の課題であり、ようやくその解決がなされようとしています。

思いおこせば、今ここに至るまで多くの議論があった事を思い出します。

特に、東日本大震災を受け、その建設場所については町民の方から多くの意見を聞き、議会でもその内容や進め方など、多くの質問がなされました。

新しくなる庁舎により、より質の高い行政を期待するとともに、議会においても、一宮町発展に向け、より一層の努力が要求されると感じています。

小安 博之 記

発行 一宮町議会
編集 議会報編集委員会
発行日 平成25年8月7日
TEL 0475(42)1421(直)